Wireless Mirroring Adapter
EHDMC10

2014.04

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。ご不明な点はいつでも解決できるように、その後はわかりやすい場所に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

本書には製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容を十分にご理解いただいた上で本文をお読みください。

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

本書に表示されている電源電圧以外は使用しないでください。

電源ケーブルの仕様を確認してください。
適切な電源ケーブルを使用しないと、火災・感電の原因となります。

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に本機を放置しないでください。また、動作温度範囲を超えたり、急激な温度変化が起こる環境で本機を使用・放置しないでください。

熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

電源プラグの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。

取り扱いの際には、次の点を守ってください。

- たこ足配線はしない
- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない
- 同梱の電源（AC アダプター）以外は使用しない

破損した電源ケーブルは使用しないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

- 電源ケーブルを加工しない
- 電源ケーブルの上に重いものを乗せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 電熱器の近くに配線しない

屋外や風呂・シャワー室など、水や雨のかかる恐れのある場所、湿度の高い場所で使用・設置しないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、電源プラグにさわらないでください。

感電の原因となることがあります。

次のような異常のときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

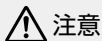
- 煙が出ている、変な臭い、変な音がする
- 本機の内部に水や異物が入った
- 本機を落としたり、ケースを破損した

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

サービスマン以外の方は、「取扱説明書」で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。また、本機（消耗品を含む）の分解・改造は絶対にしないでください。

内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

⚠ 注意

本機を移動するときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから移動してください。

火災・感電の原因となることがあります。

湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

次のような場所には設置しないでください。

- じゅうたん・布団・毛布などの上
- 毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない

ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり倒れたりして、けがをする恐れがあります。

お手入れの際は濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。

感電・故障の原因となることがあります。

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。

けがの原因となることがあります。

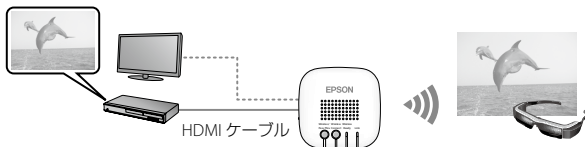
お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクターをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

感電の原因となることがあります。

本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化等により、火災の原因となることがあります。
本機を継続して使用するときは、人体から 22cm 以上離れた場所でご使用ください。

特長

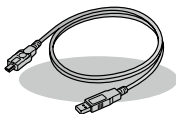
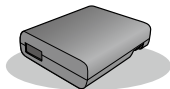
レコーダーなどの映像をワイヤレス送信（Source 機能）

HDMI 出力を持つ HDD レコーダーなどから映像コンテンツを送信して、MOVERIO BT-200 で再生できます。

MOVERIO BT-200 の映像をワイヤレス受信（Sink 機能）

MOVERIO BT-200 から映像コンテンツを受信して、テレビやプロジェクターで再生できます。

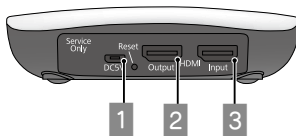
参考

2 台以上の MOVERIO BT-200 を同時に本機へ接続することはできません。

同梱品

本体　　micro USB ケーブル　　AC アダプター

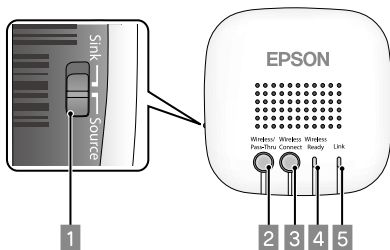
HDMI ケーブルは同梱されていません。市販の HDMI ケーブルをご用意ください。

各部の名称とはたらき

端子

1 micro USB 端子
本機へ電源を供給するための端子です。同梱の micro USB ケーブルと AC アダプターを使って、コンセントに接続してください。

2 HDMI Output 端子
HDMI Input または Miracast で受信した映像を出力する端子です。

3 HDMI Input 端子
他の機器から映像を入力する端子です。

ボタンとインジケーター

1 スライドスイッチ

Source 機能 /Sink 機能を切り替えます。

2 Wireless/Pass-Thru ボタン

[Source] 選択時：
映像の出力先を、MOVERIO BT-200（Miracast 接続）と HDMI Output 端子に接続した機器との間で切り替えます。
[Sink] 選択時：
映像の入力元を、MOVERIO BT-200（Miracast 接続）と HDMI Input 端子に接続した機器との間で切り替えます。

3 Wireless Connect ボタン

接続処理を完了したり、再接続したりします。

4 Wireless Ready インジケーター

点灯：無線接続利用可能
点滅：無線接続準備中

5 Link インジケーター

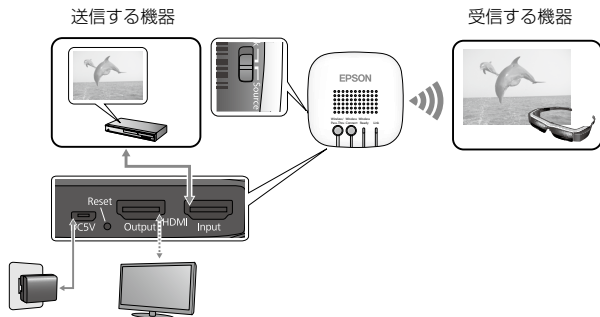
点灯：無線接続完了
点滅：無線接続処理中

エラー時は、4 と 5 が交互に点滅します。

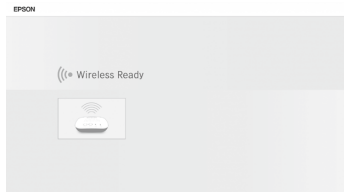
接続

レコーダーなどの映像を MOVERIO BT-200 へ送信する（Source 機能）

本機の HDMI Input 端子と、映像コンテンツを送信する機器の HDMI 端子を市販の HDMI ケーブルで接続します。スライドスイッチは Source 側に設定します。

映像コンテンツを送信する機器の HDMI 端子に接続されていたテレビなどの機器は、本機の HDMI Output 端子と接続できます。

接続手順

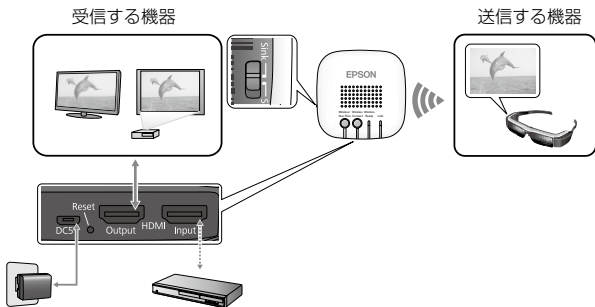
1. Wireless/Pass-Thru ボタンを押します。

   本機が接続待機状態になります。HDMI Output 端子に機器を接続しているときは、以下の画面が表示されます。

2. MOVERIO BT-200 にプレインストールされている MOVERIO Mirror を起動して、本機と接続します。

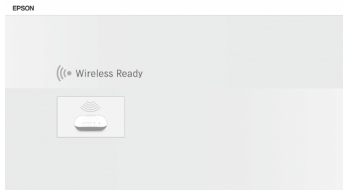
   詳しくは、MOVERIO BT-200 ユーザーズガイドをご覧ください。接続時に選択する本機の端末名は、本機に添付されている ID をご確認ください。
   接続中は、HDMI Output 端子に接続している機器に以下の画面が表示されます。接続が完了すると、以下の画面が消えて MOVERIO BT-200 に映像が表示されます。

参考

MOVERIO BT-200 と、HDMI Output 端子に接続している機器に、同時に映像を出力することはできません。Wireless/Pass-Thru ボタンを押すと、ケーブルをつなぎ変えずに映像の出力先を切り替えられます。

本機の HDMI Output 端子と、映像コンテンツを受信する機器の HDMI 端子を市販の HDMI ケーブルで接続します。スライドスイッチは Sink 側に設定します。

接続手順

1. Wireless/Pass-Thru ボタンを押します。

   本機が接続待機状態になります。HDMI Output 端子に機器を接続しているときは、以下の画面が表示されます。

2. MOVERIO BT-200 にプレインストールされている MOVERIO Mirror を起動して、本機と接続します。

詳しくは MOVERIO BT-200 ユーザーズガイドをご覧ください。接続時に選択する本機の端末名は、本機に添付されている ID をご確認ください。
接続中は、HDMI Output 端子に接続している機器に以下の画面が表示されます。接続が完了すると、以下の画面が消えて HDMI Output 端子に接続している機器に映像が表示されます。

設定

MOVERIO BT-200 やお使いのコンピューターの Web ブラウザーから、本機の設定ができます。

1. 本機の Wireless/Pass-Thru ボタンと Wireless Connect ボタンを、同時に 5 秒以上押します。

   本機が設定モードになります。HDMI Output 端子に接続している機器に、本機の IP アドレスが表示されます。

   設定モードになると、本機の Wireless Ready インジケーターと Link インジケーターが同時に点滅します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスを入力します。

   設定画面が表示されます。

3. 必要な設定をします。

項目	機能
Setting	スリープモードの ON/OFF を選択します。
Firmware Update	本機のファームウェアを更新します。 最新のファームウェア情報は、http://moverio.jp をご確認ください。
Factory Reset	本機をお買い上げ時の状態に戻します。

困ったときは

映像の送受信ができない

- micro USB ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
- AC アダプターがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
- 接続機器が HDMI Input 端子または HDMI Output 端子に正しく接続されていることを確認してください。
- HDMI output 端子に接続している機器の入力切替を HDMI に設定していることを確認してください。
- 本機と MOVERIO BT-200 の、Sink または Source 機能が正しく設定されていることを確認してください。
- 接続する機器が HDCP に対応していることを確認してください。HDCP 非対応の機器では映像が表示されないことがあります。
- 接続待機状態で 15 分間信号が入力されないときは、接続待機状態が解除されます。もう一度接続を行うときは、Wireless/Pass-Thru ボタンを押してください。
- Wireless Ready インジケーターと Link インジケーターが交互に点滅しているときは、接続エラーが発生しています。Wireless Connect ボタンを押して再接続するか、Reset ボタンを押して本機を再起動してください。
- 映像の送信と受信を同時に行うことはできません。スライドスイッチで Source または Sink を選択してください。
- 本機に接続しているときは、MOVERIO BT-200 では Wi-Fi を使ったアクセスポイントへの接続はできません。
- MOVERIO BT-200 の Wi-Fi Direct 機能がオンになっていることを確認してください。Wi-Fi 機能がオンになっていても、Wi-Fi Direct 機能がオフのときは通信できません。

映像が乱れる

- 本機の近くで Wi-Fi や Bluetooth などの通信機器を使用しているときは、無線の干渉により映像が乱れることがあります。通信機器は本機から離してお使いください。

音声が出ない

- 映像を再生している機器の音量を確認してください。
- MOVERIO BT-200 の映像を受信するときは、MOVERIO Mirror で映像を再生しているときのみ、受信機器で音声が再生されます。詳しくは MOVERIO BT-200 ユーザーズガイドをご覧ください。

仕様一覧

端子	micro USB x1（電源用） HDMI Input x1 HDMI Output x1
入力解像度	HDMI : 640x480p @60Hz 720x480p @60Hz 720x576p @50Hz 1280x720p @50/60Hz 1920x1080p @24/30Hz Miracast : 640x480p @60Hz 1280x720p @25/30Hz
対応動画	MPEG2 (H.264+AAC)
電源	Power (AC adapter) 100 to 240 VAC ± 10% 50/60Hz Power (EHDMC10) 5 VDC
消費電力	Miracast 通信時：5W パワーセーブ時：0.3W

動作環境	温度：+5 to +35℃ 湿度：20 to 80%（結露しないこと）
保存環境	温度：-10 to +60 ℃ 湿度：10 to 90% (結露しないこと)
外形寸法	115 x 115 x 30 mm
質量	130 g
無線仕様	無線規格：IEEE 802.11 b/g/n 無線周波数帯：2.4 GHz 帯 1 to 13 モジュレーション：OFDM、DS-SS 想定到達距離：10 m

対応機器情報

本機を使用して映像コンテンツを送受信できる機器については、http://moverio.jp をご覧ください。

商標について

Miracast ™は、Wi-Fi Alliance の商標です。

HDMI は、HDMI LicensingLLC の商標または登録商標です。

一般のご注意

無線 LAN 使用についての注意事項

フランスでは、無線 LAN は屋内でのみ使用可能です。

北米・台湾以外で本製品をお買い求めの場合、無線 LAN が 1-13 チャンネルの電波を発するため、1-11 チャンネルのみの使用が電波法上制限されている北米・台湾では無線 LAN は使用できません。

その他地域でご使用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

電波法による規制

各国の電波法により次の行為は禁止されています。

- 改造及び分解（アンテナ部分を含む）
- 法的適合表示の消去

使用限定について

本機は販売国の仕様に基づき製造されています。本機を販売国以外で使用する場合は最寄りのサポート窓口で確認をしてください。本機を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本機は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本機の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

周波数についてのご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか､工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および、特定小電力無線局（免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上､販売店にご連絡頂き､混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）について相談してください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、販売店へお問い合わせください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。